



# 青葉区フードバンク通信



## 「横浜市の新しい食と農の研究会」の勉強会に参加し協力を強化

横浜市では地域循環型経済を考える「横浜の新しい食と農の研究会」（以下、食と農の研究会）が開かれており、国際文化交流研究会でも先日、その勉強会に参加させていただきました。というのも、私どものフードバンク活動として、「食と農の研究会」の実践活動である「シェアご飯（お弁当配布）」への食支援があるからです。「シェアご飯」を主宰されているのは、横浜市青葉区の藤が丘駅そばのイタリアンレストラン「ナチュラル・ポーノ」のオーナーシェフ植木さんで、ひとり親家庭などに手作りのお弁当を配布していらっしやいます。

「食と農の研究会」には、植木さんのような飲食店の方々をはじめ、地域の企業、横浜国大教授、東工大教授、農家の有志、福祉関係の団体、横浜市の職員、市議会議員有志などが参加しています。この会は主に、日々の食に直結している農業の課題や、食品ロスなどの有効活用、異業種連携による商品開発などに取り組むことを目的としています。国際文化交流研究会



← ナチュラル・ポーノではオーナーシェフ植木さん手作りのお弁当を「シェアご飯」として配布しています。



← 7月に鴨志田地域ケアプラザで開催した食品配布会の様子です。パスタ、カレー、スナック菓子、飲み物などを配布しました。

では、食支援をはじめ、行き場を失った野菜などの有効活用、食育活動などについてお役に立てればと考えており、今後も連携を強めていく所存です。

新型コロナ禍が収まる気配がない中、数年先を見通すことが難しくなっていますが、子育て中のひとり親家庭の方などは数年先に子どもが中学生になる、高校生になる、大学生になる…という場合に、どうやって夢を描けば良いのでしょうか？ 外観からは悩みがあるかどうかはわからず、そうした生きていく上での悩みなどを相談できる場もあまりありませんから、「食支援」をきっかけにして、ひとり親家庭の方々に寄り添っていければと思っています。（文責：編集部）

### 主なフードバンク活動の記録

★「令和3年WAM助成」に採択され活動中です★

【第8回】7月11日（日）青葉区・桜を愛する会

【第9回】7月12日（月）鴨志田地域ケアプラザ

【第10回】7月19日（月）鴨志田団地集会所

★今後の食品配布会の開催予定★

8月08日（日）青葉区・桜を愛する会

8月09日（月）鴨志田地域ケアプラザ

8月16日（月）鴨志田団地集会所

※食品協力：みんなのフードバンク <http://minnano-foodbank.com/>

### 編集後記

7月23日、ついに東京オリンピックが開会されました。新型コロナウイルス感染者増加、東京は緊急事態宣言発令中、一部を除いては無観客での実施という異例づくめの開催であっても、競技者には声援を送りたいものです。国際的なイベントが日本で開催される際本来であれば当会会員の実力の見せ所で、通訳等で活躍出来た筈。現在は目の前の課題である地域での食支援や交流に力を入れてきめ細やかに活動の輪を広げて行き、コロナ禍収束後のプランも練ります。（園）

<http://kokusaibunkalabo.com/>